11 教育･文化

北海道網走市　桑原　志保美

教育・文化

～　網走に残る古代オホーツク文化の遺跡で魅力発信　～

基本情報



【年　齢】
４９歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
漫画家・陶芸家・葬祭業
【活動時期】
R５.８～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

以前網走へ旅行に来た際、モヨロ貝塚館という1300年前オホーツク海沿岸に400年間程だけ存在していた「オホーツク文化」を紹介する施設に立ち寄り、すっかり夢中に。網走を含めたオホーツク地方に興味を持っていたところ、網走市地域おこし協力隊の募集を見つけ、自分の特技を活かせるのではないかと思い、応募に至った。

今後の抱負・任期後の目標

網走の観光は「監獄」のイメージが強いが、他にも面白い文化の痕跡が残っていることや、海産物がおいしいことなどをもっとPRすることで、網走の観光全体が盛り上がることを目指していきたい。今後私は網走に残る平和な文化の遺跡「オホーツク文化」のことをもっと楽しく気軽に体験していただけるようなメニューを開発していき、特に卒業後はキッチンカーで土器を使った料理を提供する「土器カフェ」のオープンを目指している。

活動内容

●土器づくり体験

モヨロ貝塚館にて、一般の方むけに年３回の土器づくり体験講座を開催。小・中学校の校外学習での土器づくり体験・施設解説ガイドを行っている。
また、体験で制作された作品は昔ながらの「野焼き」という方法で焼成し、見学会も実施。更に本物に近づけられるように土の配合を研究し続けている。



●ミュージアムトーク



気軽に短時間で土器体験をしていただけるメニューを開発し、興味を持たれた方に実施。その際、スライドを使用しながら土器について解説し、理解を深めていただくというイベントを7月～9月に行った。
冬休み期間にも開催予定。参加者には考案したキャラクター「土器くん」の漫画などを渡している。

●土器貝汁

網走の粘土を使って作った土器に薪をくべて調理した貝汁を、イベント時に提供した。食材は網走のシジミをはじめとした地元のものを使うようにし、この地ならではの味になることを目指している。また「オホーツク遺跡街道推進ネットワーク」にも参加し、貝汁提供、土器づくり体験、ガイドを経験した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）kuwabara.kyouryokutai@gmail.com
（電話番号（個人）080-1880-4150

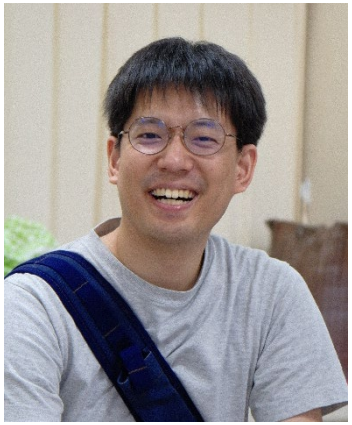
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instaglam）https://www.instagram.com/abaaba_kuwabara

北海道遠別町　荒木　隆宏

教育・文化

～　学力向上への支援、教育サポーター　～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ７.９～（１年目）

協力隊に応募したきっかけ

児童会館での勤務経験を活かして、子どもたちの力になれる仕事に就きたいと思っていたところ、SNS広告で遠別町が協力隊を募集していることを知って応募に至りました。

今後の抱負･任期後の目標

学生と一緒に清掃活動を行うなどのコミュニケーションを大切にした活動をはじめ、地域との協創や地域資源の活用に挑戦してみたいです。
また、YouTubeやSNS、マスメディアなどを通した外部への発信にも努めていきたいと思います。

活動内容

●公設民営塾「えんべつ学びの場」運営支援

遠別町内唯一の学習塾で、運営のサポートを務めています。
小中学生の子どもたちが通っており、毎週一緒に勉強をしながら、学びや成長を応援しています。



●教育関係のイベント運営支援

遠別町教育委員会主催の「子どもチャレンジ教室」、地域団体運営のおもちゃ図書館「ちゃちゃ」や小中学生向けの探求学習「クエストラボ」の運営補助を務めています。
イベントを通した子どもたちの貴重な体験や地域の温かい交流の場を支えています。



●情報発信

遠別町公式note「えんべつ日和」に、町内の紹介やイベント取材に関する記事「協力隊あらぴだより」を投稿しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@en-oko.com
（電　話　番　号（職場））01632-9-7151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（note）https://note.com/embetsu ※二次元コードはこちら→

北海道芽室町　甲斐　未悠

教育・文化

～中高生と地域をつなげ、羽ばたく未来をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
宮崎県延岡市
【転出元】
東京都立川市
【前　職】
保育教諭
【活動時期】
R6.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に道東の地域教育に触れる機会があり、そこから「地域と教育」という部分に興味を持ちはじめました。
前職では、地域と子どもたちをつなげることを意識した幼児教育や関連事業を保育教諭の立場で行っていました。幼児教育にも興味関心はあったものの、地域での学びを創造し、コーディネートする方に関心が強くなっていったため、ご縁もあり芽室町の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

中高生が地域資源と触れ合うきっかけづくりを引き続き行いながらも、すでに繋がりを持った中高生との関係性を大切にしながら活動していきたいです。
また、中高生×地域の活動は現状行っているので、幼児×中高生、幼児×小学生×中高生×地域など幅広い世代での繋がりが生まれる場づくりを作っていきたいです。

活動内容

●学校連携（白樺学園高校・芽室高校）

白樺学園高校総合コースの総合的な探究の時間にて地域の方のコーディネートや個人・グループ探究の伴走支援を行っています。
芽室高校フードデザインの授業では、地域の方のコーディネートや授業サポートを行っています。



●主催プログラムの実施

町内中高生が地域資源（物的・人的）を楽しめるようなコンテンツを企画運営しています。今年度では、町内イベントにて中高生スタッフとして活動するプログラムや夏休み期間中にレシピ開発、買い出し、試作、全体発表全て自ら行うプログラムを実施しています。



●生徒の伴走支援

中高生が地域でやってみたいことを伴走支援し、実践するプログラムです。今年度は昨年度からチャレンジし続けているサイクリングツアー（第3弾）や今年で4回目となる高校生主催クリスマスイベント「めむクリ」、今年初の動きとなる町内在住農業高校生のイベント企画の伴走支援を行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kai.m@memuro.net
（電話番号（職場））0155-62-9730
【活動の様子を発信しているSNS】
芽室町教育委員会Instagram
芽室町地域おこし協力隊Instagram

@HOKKAIDO.MEMURO_CHIKIKOKOSHI　@MEMURO_BOARD_OF_EDUCATION

岩手県一戸町　山舘　湧真

教育・文化

～　公営塾の運営　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
岩手県一戸町奥中山
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
児童指導員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

盛岡市で児童養護の仕事に携わる中で、地元一戸町に公営塾があることを知りました。見学させていただき子どもたちと関わる中で、地元の子どもたちの力になりたいという想いが強まった事と、両親が経営する会社の事業を今後サポートしていきたい事、2人の子どもを授かったことをきっかけに今後の働き方について考えるようになり、一戸町地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は両親が経営している会社の事業を継承しながら、一戸町の「教育」「地域づくり」「地域おこし協力隊のサポート」に携わりたいと考えています。
また、現在副業として行っている福祉関連の業務や立ち上げた任意団体の活動等、引き続き自分にできることを、地域の皆様の力も借りながら取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●一戸町公営塾の運営

「自学自習」をテーマに町内の小学3～6年生を対象とした塾を運営しています。町内3教室週1回の授業を行っており、計59名の塾生が在籍しています。
また、通常授業以外に料理教室や登山等の体験学習、夏期講習、冬期講習、中学3年生対象の土曜学習会、各種検定の運営などの活動も行っています。



●奥中山まなラボの運営

今年度、一戸町の地域おこし協力隊有志で「子どもの体験機会創出」を目標に任意団体奥中山まなラボを設立。岩手県の若者補助金を活用させていただきながら、スタディキャンプ、トウモロコシ収穫体験、月曜ゆったり学び場などを企画。この活動で得た経験を来年度以降の活動に活かしていきます。



●移住フェアへの参加

ふれあい回帰フェア、THEいわてDAYなどの移住フェアへ参加。一戸町の魅力発信、一戸町地域おこし協力隊の紹介等を行いました。
一戸町地域おこし協力隊が作成したチラシを配布しながら、一戸町に興味・関心を持っていただけるようアピールしてきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））machi@town.ichinohe.iwate.jp
（電話番号（職場））0195-33-4851

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/tum_ugi14/

宮城県涌谷町　丸井　陽介

教育・文化

～みんながチャレンジできる環境を作る～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
兵庫県西宮市
【前　職】
公設民営塾　講師
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

地方の学習塾で勤務していたところ、国数英のような受験勉強も大事だけど主体的にやりたいことを仲間と一緒に実現するような社会教育も大事だと考えていた。そこで協力隊の制度を見つけ、平日夜は学習塾で副業をしつつその他で社会教育に携わることができそうだと感じたから。また、公設民営塾で生徒は無料で通える塾だったため、児童養護施設に通う子どももおり、事業でお金を作ってその子たちに対しての事業をしたいと考えていたから。

今後の抱負・任期後の目標

涌谷町に定住しつつ、お金になりにくい社会教育を継続すること。自分で事業（学習塾や宿泊事業など）を作り上げ、生活の基盤を整える。その上で地域の仲間たちと一緒に楽しいことを実現していき、大人から子どもへ「やりたいことはチャレンジして大丈夫だ」と思わせる環境を作っていく。また、個人的に児童養護施設に入る子どもたちに海外体験を提供し、体験格差の是正と頼れる仲間づくりができる事業を展開したい。

活動内容

●高校の総探コーディネーターと居場所づくり



涌谷高校の総合探求で地域の大人と高校生で対話する機会を設けたり、授業に一緒に入ってサポートをする。また、駅前のゲストハウスのスペースを利用してボードゲームなどを置き、帰り道に寄って友達と集まれる場所を作っている。全員が利用しなくてもいい、誰かの居場所へ。

●たくらむ会からのイベント実施



月に1度1品持ち寄りで多様な人が集まり、ご飯を食べながらやってみたいことを仲間を作りながら「たくらむ」。そこで考えた楽しい企画をみんなで実行する。小中学生向けのゲーム大会や大人も含めたスポーツ交流のモルック会、スナックを活用したカラオケ大会などを今年度は実施した。

●ふるさとワーキングホリデー



総務省が支援する移住定住・関係人口創出の事業の事務局を務め、企画から運営を実施。観光のその先へ。人と繋がり人から涌谷町を好きになるプログラムを検討し、涌谷町が「第2のふるさと」になるように毎日町民と晩御飯を食べたりするなど場づくりをしている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）maruiyousuke@gmail.com
電話番号（個人) 070-4173-6929

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ】
Instagram：(wky_2426)　note:(https://note.com/wky_2426)

千葉県香取市　田畑　尚貴

教育・文化

～　歴史的街なみを支える人材を目指す　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

大学でまちづくりについて勉強していたころ、佐原の歴史的町並みと市民主体の保存活動について知りました。
実際に訪れてみて、悠々としたまちの雰囲気に感動し、何度も訪れるようになりました。震災で大きな被害を受けながらも訪れるたびに修景がすすみ、それを活かした活動が盛んになっていく様子に改めて大きな魅力を感じていました。コロナ禍を経て今後の働き方について改めて考えていたとき、佐原の町並み保存に取組む地域おこし協力隊の募集があり、すぐに応募を決めました。

今後の抱負･任期後の目標

イベントや制作物を通して、重要伝統的建造物群保存地区の価値ある歴史的な町並みがどうやって守られてきたのか、次代に残していくためにはどうすればいいのかについて、より多くの人に関心を持ってもらえるような取組みをおこなっていきたいです。

活動内容

●香取市都市整備課での業務

伝統的建築物の修復現場の立ち合いや景観審議会への参加等を通じ伝統的建築物についての知識を深めつつ、担い手育成支援事業の支援、さわら町屋館の活用イベントの企画・運営など、ソフト面からの町並み保存に関する業務に取り組んでいます。



●町並み保存関係団体との連携・支援

NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会や佐原おかみさん会をはじめとした町並み保存・活用に関わる団体と連携し、各団体の町並み保存事業の支援に取り組んでいます。（小野川清掃、骨董市運営補助、伝統的建築物への標章プレート設置業務の支援、佐原雛舟春祭り運営支援等）



●香取市内外の地域おこし協力隊との連携

香取市の地域おこし協力隊である粟野隊員が主宰する古本交換会「BooksMeeting」の運営に参加しています。また、歴史的な町並みを活かしたまちづくりに取り組む地域おこし協力隊や北総エリアの地域おこし協力隊との交流や情報交換を積極的におこない、イベント企画・運営等に取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】香取市都市整備課
（メールアドレス）toshi3@city.katori.lg.jp
（電話番号）0478-50-1214

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://instagram.com/katori.kyoryoku

富山県上市町　レドンド・ボネット・ルーカス

教育・文化

～　上市町をアートのまちへ　～

基本情報



【年　齢】
46歳
【出身地】
スペイン
【転出元】
韓国
【前　職】
大学准教授
【活動時期】
R7.4.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

韓国と日本を行き来する２拠点生活をしていた中、息子が小学生になるタイミングで日本に拠点を固定し、自然の中で暮らしたいと考えるようになりました。

知らない土地でいきなり生活するのは難しいので、地域に溶け込んで繋がりが持てる仕事を探していた時に協力隊の制度を知り、アニメの舞台にもなっている上市町が外国人協力隊を積極的にを募集していたので、自分のアートスキルを活かして地域に貢献できると思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の子どもたちや海外の美術大学生らを対象としたアニメーションコンテストやキャラクターデザインコンテストを開催したいです。

将来的には、町の「アートの先生」として地域に根ざし、子どもから大人まで、誰でも気軽に集い、創作に取り組める開かれたアートスタジオを運営していたいと考えています。

活動内容

●地域の子どもたちへアート教室

部活動の地域移行に伴い、中学校や小学校でアートを楽しく学びたい子ども向けの教室を開催しました。今後も定期的にアート教室を開催していく予定です。



●海外から美術大学生を誘致

細田守監督のアニメーション映画『おおかみこどもの雨と雪』の舞台でもある町を「アートの町」として広く発信するため、海外から美術大学生を迎え、プロのゲームデザイナーやアニメーターを講師とし、キャラクターデザインや日本のアニメ業界に関するワークショップ等を実施しました。



●ストリートアート

空き家が増えるまちなかの活性化を目指し、既存のイベントに合わせて子どもたちが自由に楽しめるストリートアートを開催しました。上市町の「過去・現在・未来」をテーマに３年間にわたって一つの作品を制作します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　lucasredondobnt@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ウェブサイト　www.lucasredondobonet.com

石川県金沢市　小泉　範剛

教育・文化

～　醤油やまちなみなどの地域資源を活かしながら、アートによるまちづくりに取り組む！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
一級建築士事務所 艸の枕
【活動時期】
R6.9～

協力隊に応募したきっかけ

2021年1月～2024年1月(能登半島地震発生時)まで学ばせていただいていたトンコハウスというアニメーションスタジオがある金沢の土地であること、
『絵で表現する大野町の豊かな表情』という企画を通した地域おこしは絵の技術向上も期待できること、
任期終了後のアニメーションスタジオへの就業を見据えた準備に十分な時間を割けることが応募させていただくきっかけになりました。

今後の抱負・任期後の目標

任期終了後はアニメーションスタジオへ就業し、さらなる修行を積んだのち、アニメーションスタジオを設立し映画制作を続けます。
就業・起業にあたって必要になる絵の技術的な側面を地域おこし協力隊の活動としてさらに向上させ、
コンセプトアーティストとして世界で活躍することで、アニメーションを通した金沢・大野町への中長期的な貢献を目指しています。

活動内容

●大野町周回企画『絵で表現する大野町の豊かな表情』

『絵で表現する大野町の豊かな表情』と題して、地域の方々は地元の魅力を再発見し、観光客の方は大野町に行ってみたいと思ってもらえることを目標に、大野町の美しい街並みや風景を絵で表現しています。
現在完成している作品は既に常設展示しています。



●大野町内イベント出展

町内で行われるイベントでは、出展時のみ活動拠点を展示用に改装して作品展示を行っています。
大野涼日というイベントは1年間を通して観光客が最も訪れる日で、たくさんの方に絵を見ていただく機会があります。その他にも大野町文化祭という町内のみに向けたイベントへの出展などもしています。



●任期終了後に向けた自主制作

最長3年間という任期が決まっているので、任期終了後の活動を見据えた準備をすることを心がけています。任期終了後はアニメーションスタジオへの就業を考えているので、応募に際して必要な作品集(ポートフォリオ)の制作を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス(個人)） curiousanimation2001@gmail.com
（電話番号(個人)） 080-4044-2667

教育・文化

福井県大野市　村上　綾（むらかみ　あや）

～　こども・若者支援　「みんなで育てる」共助の精神が基盤にある環境づくり　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
理学療法士(小児専門)
【活動時期】
R6.5～R9.5

協力隊に応募したきっかけ

たまたま遊びに来た大野市に一目ぼれをし、「大野に住みたい！」と思ったことがきっかけです。「住む」ということは、生活できるようなお金を稼ぐ必要があります。私は、国家資格免許を持っており、その資格を活かして就職することは容易でした。しかし、せっかくならば、移住する前からお世話になっている地域の方々や、地域自体に恩返しをしたいという想いがありました。そんな中で「地域おこし協力隊」という制度を知り、フリーミッション型で応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後も大野市に住み「大野で子育てをする」ことが一番の目標です。さらには、「好きな土地で生きる」ことを自ら体現し続け、普段関わっている子どもたちや学生にも広い視野で、様々な選択肢を提示していきます。

現在地域おこし協力隊として行っている、子ども関連事業と地域創生事業は任期後も続けていく予定です。

引き続き、大好きな大野で過ごしていきます。

活動内容

●子ども向けのイベント企画・運営・実施

幼児から小学生を対象として、月１回以上子ども向けのイベントを実施しています。主催イベントは、大野の良さを最大限に活用し、「家でも学校でもできない、新たな発見・体験をしにいこう！」をコンセプトに探究学習要素を絡めながら実施しています。



●市内の教育・保育現場視察とヒアリング

大野市内にある、こども園～高校までの保育・教育機関や学童、民間施設など「子ども」の文脈がつく場所に足を運び、現場視察と子どもを取り巻く環境にいる大人たちへのヒアリングを実施しています。「大野だからこそ」の良さと課題を収集し、自治体に伝えたり、協力隊の活動に反映したりしています。



●若者の居場所づくり

福井県内各地に展開している、若者の居場所の運営メンバーに参画しています。大野支部の運営を中心に実施しています。



●SNSを活用した魅力発信

移住してきてからのリアルな生活や、大野の魅力をSNSを活用しながら発信しています。まずは「知ってもらう」ために大野市とのタッチポイントをSNS上で創出しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koconowa.official@gmail.com(個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム：https://www.instagram.com/iju_musume.ono/
HP：https://koconowa.me/

長野県原村　平林　壮太

教育・文化

～　村のミュージアム・八ヶ岳美術館の魅力発信、企画運営　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都墨田区
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R5.10～現在

協力隊に応募したきっかけ

大学では美学や博物館学を勉強していたので、学んできたことを活かせる仕事を探していたところ、協力隊の募集を見かけました。八ヶ岳の自然環境、清水多嘉示の彫刻と村野藤吾の建築空間が響き合う八ヶ岳美術館はとても魅力的な職場でした。原村には来たことがなかったのですが、ミュージアムの現場や学芸員の実際の業務を知る貴重な経験ができると期待して応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

長野県は全国で最もミュージアムの多い都道府県です。信州の文化芸術の振興に少しずつでも貢献しながら、文化財が暮らしのなかでどういった役割を果たせるのか、自分なりに考え続けたいです。

活動内容

●企画展「村山写真室 生活と遺影」を担当

富士見町在住の写真家で、写真と生活のかかわりを探求している村山写真室さんの制作活動を令和7年度秋の八ヶ岳美術館の企画展でご紹介しました。
村の広報紙や新聞で作品制作の協力者を募集し、地域住民が参加する形での作品展示企画を実施しています。



●村所蔵の民俗資料を高齢者福祉で活用

福祉担当の地域おこし協力隊と共同で、原村の民俗資料を高齢者施設に持っていき、思いだせるお話を聞き取って記録する活動を1年間継続しています。
施設の職員さんから「利用者さんが元気になる」という声をいただけるほか、記録した声は地域住民向けに展示公開しました。



●開館前の美術館内での朝ヨガ教室を企画

企画担当の地域おこし協力隊と共同で、村内のヨガスタジオを経営されている先生をお招きし、開館前の時間の美術館内を活用してもらうイベントを開催しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
art@yatsubi.com（八ヶ岳美術館）、hira.sohta@gmail.com（個人）
0266-74-2701（八ヶ岳美術館）、090-5994-0196（個人）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@haramura_nagano（原村地域おこし協力隊インスタグラム）

HARAMURA_NAGANO

長野県中野市　ヲン　ジュン　シアン（ノア）

教育・文化

～　誰もが地域の一員として暮らせるまちへ　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
マレーシア
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
国際学校教師
【活動時期】
R6.6～

協力隊に応募したきっかけ

私は、まちで働き、市に貢献しながら中野市の美しさや人々の魅力をもっと知りたいと思っていました。応募のきっかけとなったのは、日本語を学び続けることができる環境と、自分の知識をみなさんと共有したいという思いです。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、言語や価値観、活動、そして「幸せを分かち合う」ことなど、文化的な知識を地域の方々に伝えていきたいと考えています。文化交流を通して、お互いの理解を深め、人と人とのつながりを大切にしていきたいです。

活動内容

English de Pokeca

このイベントでは、子どもたちと保護者の方が、日本で人気のあるゲームを一緒に楽しみながら、親子での時間を大切にしつつ、英語を学ぶことができます。中野市のHUBLICで、月に一度開催されます。



●English de Jazz

このイベントは、誰もが持つ芸術的な感性を育むことを目的としており、子どもから大人まで、特に家族で楽しみながら学び、充実した時間を過ごせます。季節に合わせて演奏する音楽を選曲します。



●イベント企画・開催および市内でのイベントサポート

この1か月間、市内のさまざまな関係者と打ち合わせを行い、イベントの企画を進めることができました。また、市内の多くのイベントでは、ホスティングや司会、広報活動、学校訪問、市のPRなどのサポートも担当しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））wong.junxian@isnedu.org
（電話番号（個人or職場））080-9661-8329

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram): nakanosquadnoah

京都府京丹後市　松村　章

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
48歳
【出身地】
福井県越前市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

首都圏で仕事をしていた30歳頃より将来の働き方・生活スタイルを考え、50歳までにUターンすることを決意しており、仕事の区切りがよいタイミングでの退職を決意。そんな中、海と山に近い自然豊かな地方で「地域×教育」をキーワードとし、民間企業以外で地域貢献できる仕事に就きたいと転職活動している中で、京丹後市に運命的な出会いを感じたから。

今後の抱負･任期後の目標

地元の個人・企業・行政との繋がりに加え、地元自治会との繋がりを強め、身近な地区レベルの地域課題解決に取り組める環境づくりと単年度内での取組みから、年度を跨いだ取組み（生徒個人としては３年間、高校としては後輩への継承による長期間）へと発展できる持続可能な仕組みづくりをしたい。また、任期終了後は、地元高校OB/OG生が都心部よりUターンした後も、地元で稼ぐ力がレベルアップできる環境・仕組みづくりとともに、10～30代に魅力ある仕事づくりをしたい。

活動内容

●地域とのネットワークづくり

従来の学校教育の視点だけではなく、より多角的な視点で地域資源（ひと・もの・こと）を捉えながら、高校生の意識の変化や興味・気づきを促すために高校と地域の「架け橋」として、高校生・先生と行政や企業、地域の団体や人を適切にマッチングしていくとともに、農・食・観光など高校の学科特性に応じた学びのサポーターづくり

●探求授業における総合的サポート

探究活動・課題研究活動等における教員にない視点からの提案・支援。具体的には、首都圏で仕事をしてきた経験をもとに、先生達が教えたい思い・技術を肉付けする実例紹介や生徒達の困り事・悩み事解決のきっかけ・後押し
となるアドバイスなど。



●ふたつの学舎（網野、久美浜）の連携促進

ふたつの学舎で学ぶ生徒達が連携して行う活動に対する教員にはない視点からの提案・支援。具体的には、商業科と農業科の合同企画におけるアドバイスやマーケティング授業での全校生徒アンケート実施における学舎間調整など

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎･久美浜学舎）

京都府京丹後市　岡田　実希

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
京都府綾部市
【転出元】
京都府舞鶴市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

京丹後市に引越すことを機に、新しいチャレンジとして地域おこし協力隊の仕事を探しました。「先生ではない大人が高校生と関わることで、どんな化学反応が起こるんだろう？」というワクワクした気持ちから応募しました。地域と高校生をつなぎながら、京丹後市の活性化に貢献したいと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は地域と高校生の架け橋としての役割をさらに強化し、地域資源を活用した新しい学びの場を提供していきたいと考えています。

任期終了後については、京丹後でいきいきと暮らす若い女性を増やしたい。暮らしや生き方に前向きになれるようなきっかけを、この地域で少しずつ、つくっていきたいです。

活動内容

●探求・課題研究活動の支援

総合探究の授業では、京丹後市の伝統文化に触れる機会を積極的に提供。例えば、ちりめんの地元企業とコラボし、地域文化をテーマにしたプロジェクトを実施。タブレットでの調べ学習だけでなく、実際に着物に触れるなどの実体験を重視した活動を実施。

●地域の伝統文化との連携

地域の伝統芸能である「溝谷太鼓」の方々と協力し、活動を積極的に行っていた生徒が1名しかいなかった清新高校太鼓部を支援。直接太鼓の指導を受け、自身も一緒に太鼓を叩き、生徒とともに活動に参加。その成果として、奈具丘祭（生徒の成果発表の場でもある秋の地域解放イベント）では新たに集まったメンバーと共にオープニング演奏を実施。地域文化の継承と活性化につながる取り組みとなった。

●広報活動

従来のFacebookに加えてInstagramを開設し、探究活動や地域連携プロジェクトなどの様子を発信。生徒たちの活動や成果を広く知ってもらうための広報体制づくりに取り組みました



※学校のInstagramより

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立清新高等学校

京都府京丹後市　北川　みなも

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
33歳
【出身地】
滋賀県彦根市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

京丹後市に引っ越すことになり、次のステップを考える中で「地域コーディネーター」という職種に出会い、興味を持ちました。
これまで、人とのご縁を通してさまざまな経験や新しい価値観に触れてきたことから、「人と人をつなぐ」という役割に強く魅力を感じ、応募いたしました

今後の抱負･任期後の目標

高校生と地域の架け橋となるコーディネーターの役割に加え、私はこれまでサッカーを通じて学んだ経験やスキルを活かし、若者と地域社会をつなぐ活動に貢献したいと考えています。サッカーは、技術的な成長だけでなく、チームワーク、コミュニケーション、リ ーダーシップといった、人間関係の構築に不可欠な要素を教えてくれました。これらの経験を 地域活動に反映させ、高校生と地域住民が協力して目標を達成できる場を作りたいと思ってい ます。

活動内容

●探求･課題研究活動の支援①

「総合的な探究の時間」の授業では、地域の方々に向けてアサイーボウルを企画・提供したいというグループが、高校の近くにある御旅市場という場所で行われるイベントに地域の方の協力のもと出店しました。



●探求･課題研究活動の支援②

アレルギーを持っている子どもも、みんなと同じお菓子を一緒に食べてほしい！という想いを持ったグループが、地域の人のアドバイスのもと米粉クッキーの試作を繰り返し行い、販売まで実行しました



●情報発信

毎月、峰山高校のホームページに探究学習の記録を投稿しています。生徒たちの活動内容や、探究学習について多くの方に認知していただけるよう取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立峰山高等学校

和歌山県東牟婁郡串本町　藤岡　さくら

教育・文化

～公営塾「くろしお塾」の運営活動～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
人材紹介会社
【活動時期】
R7.7～

協力隊に応募したきっかけ

私は、単なる受験対策にとどまらない「学び」のあり方に関心を持っており、串本古座高等学校の公営塾「くろしお塾」で実施されている「地域みらい学」に強く惹かれました。豊かな自分づくりのきっかけをつかむ場として、社会情勢・経済・地域課題など、学校の授業では学べないテーマを扱い、新しい価値観を見出し、地域や自分自身の未来を考えるきっかけづくりを行う学び場に魅力を感じ、地域おこし協力隊として応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

【今年の抱負】
多様な価値観や生き方に触れる機会を提供して、生徒の視野を広げたり、社会や地域、そして自分自身の可能性に目を向けるきっかけをつくっていきたい。
【任期後の目標】
地域と学校をつなぐ学びの場づくりに携わりたいと考えています。地域資源を活かした教育活動を企画・運営したいです。

活動内容

●くろしお塾での学習支援

串本古座高等学校内の公営塾「くろしお塾」の運営を行っている。平日は放課後～21時まで、土日祝は9時～21時まで、生徒は誰でも無料で利用できます。質問対応や小論文/志望理由書の作成など、生徒一人ひとりの学習状況や進路希望に応じた支援を行っています。



●地域みらい学の企画・実施

豊かな自分づくりのきっかけをつかむ場として開講している「地域みらい学」の企画・運営を行っています。地元の方々や大学教授、面白い生き方をしている方々などを招いて交流会を行い、生徒の視野を広げたり、社会や地域、自分自身の未来を考えるきっかけとなる場をつくっています。



●オンライン学校説明会

全国から生徒を募集している本校では、全国の児童生徒向けに実施するオンライン学校説明会を行いました。地域外の者という視点を活かして、くろしお塾の説明や、地域や学校、生徒の印象について説明をしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kuroshio.fujioka@gmail.com
（電話番号（職場））0735-62-1794

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram

@KUROSHIOKK

島根県知夫村　若宮　柊

教育・文化

～　島留学の魅力を伝える　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
埼玉県嵐山町
【前　職】
特別支援学級教員
【活動時期】
R3.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

私は新しい環境で一からチャレンジしたいという気持ちで参りました。5年間、川崎の特別支援学級で子どもたちの成長を支える中で、環境と人の関わりの大切さを実感してきました。そのため、「子どもの成長を支える環境づくり」を理念とする知夫里島の島留学に、心から共感しています。教育の経験を活かし、島の子どもたちの日々の成長を温かく見守りながら、地域の方々と共に島の魅力を発信してみたいと思い知夫里島の協力隊に応募しました

今後の抱負・任期後の目標

島留学で、子どもたちの自主性や主体性を育む教育の重要性を深く実感しました。任期中は、この経験を活かし、生活指導で子ども一人ひとりに寄り添い、挑戦を支える安心できる環境づくりに尽力いたします。
任期後も、島での貴重な経験を活かし、子どもたちが主体的に行動できる未来の環境づくりに貢献し続けることが目標です

活動内容

●安心できる場所をつくる

日々の生活リズムやルールの確認を行い、自立に向けた習慣づくりを支援するとともに、困った時に相談できる関係づくりを意識し、安心して生活できる環境を整えました。



●地域の方々と一緒に島の魅力をつたえる

地域の方々と協力し、寮生と釣り体験を行いました。自然や人とのつながりの大切さを学ぶ機会とし、その様子をSNSで発信して島の魅力や子どもたちの成長を伝えました。



●寮生の挑戦をサポート

寮生が流しそうめんをしたいという要望から、島留学制度の「100の約束」を活用し、地域の方々と協力して実施しました。その他にも、キャンプや牛の世話など、子どもたちの希望に沿った体験活動を地域の方につなぎながら行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））wakamiya.shu@chibukyouiku.ed.jp
（電話番号（職場））08514-8-2301

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（知夫里島島留学はぐくみ寮）

岡山県高梁市　渡邉　香織

教育・文化

～生徒の心を掴め！学校と地域を繋ぎ、「やりたい」を引き出す教育サポーター～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
岡山県高梁市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
飲食店（店舗責任者）
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

地元高梁市で保育士を経験した後、京都で営業職や飲食店経営者を務めました。都市で接した学生の「自分の将来に対する関心の薄さ」が印象的で、かつての教え子たちの未来と重なり、若者の可能性を閉ざしたくないと強く感じていました。コロナ禍を機に自由な働き方を求め、故郷へのUターンを決意。教育の視点と飲食店で培ったコミュニケーション力を活かし、高梁市のワクワクする教育を一緒に盛り上げていきたい、生徒の「やりたい」という挑戦を応援したいと思ったのがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

任期後も、地域と連携する学校となるようサポートを継続し、これから立ち上がる地域コンソーシアムでも、生徒の「やりたい」実現に向けた交流人材の発掘を担います。
協力隊活動中に身につけた動画・写真制作スキルを活かし、好きな旅行にも行きながら、各地の魅力を発信し、「好き」を仕事にしていきたいと思っています。今後は、地域貢献と自己のキャリアを活用しながら、自身の「やりたい」を実現していきます。

活動内容

●高校の魅力発信

生徒募集のための魅力発信を担っています。学校公式SNS運用や学校紹介チラシの制作を通じて、学校の魅力を発信。また、入学希望者向けに、オンライン説明会や住居の現地案内を実施しています。
大阪で開催された高校留学フェスにも参加し、県外入学生徒のアパートでの暮らしなど具体的な情報を中学生に伝え、募集活動を支援しました。



●県外入学者の暮らしサポート

県外から移住し一人暮らしをする生徒へ、心身のケアと地域交流のためのサポートを実施しています。アパートへの定期訪問で生活上の不安を解消し、土日に地域イベント等へ連れ出し、住民との交流機会を創出することで、高梁市への親しみ促進や関係構築を促しています。



●市内高校の「探究学習」等のサポート

地域とのパイプ役として、生徒の探究活動を支援。高梁市の地域資源に関する情報を提供し、地域人材との繋がりを創出しています。また、フィールドワークの引率や、習得した動画・写真制作スキルを活用して、動画制作のサポートを行うなど、生徒の「やりたい」実現をサポートしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））watatani012@gmail.com
（電話番号（個人））090-3745-3598

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（岡山県立高梁城南高校・公式Instagram）

岡山県新見市　造酒　耕平

教育・文化

～　民謡のアーカイブ化と音楽によるまちづくり　～

基本情報



【年　齢】
４１歳
【出身地】
京都府向日市
【転出元】
京都府向日市
【前　職】
介護職、翻訳業、通訳業
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

音楽の根をより深く掘りたいと思うようになり、母の実家がある新見市の音楽について調べてみると、労働歌や民謡が豊富に残されていることに気づいた。
まだ唄い手の方がおられるうちに、保存継承をする必要があると思い、市内の知人に相談したところ、協力隊制度を紹介され、自分がしようと決意した。

今後の抱負･任期後の目標

完成した新見民謡アーカイブスをたくさんの方に見てもらえるよう周知活動を行っていく。
また、民謡を含め多彩なジャンルの音楽に触れることができるイベントを開催することで、音楽によるまちづくりを進めていきたい。
将来的には、民俗資料館や音楽広場の設置など、歴史と音楽に触れることのできる場を設けたい。

活動内容

●新見市に残る民謡のアーカイブ化



市内に残る民謡音源のカセットテープなどを借り受け、データ化を行うとともに、市民の方へのインタビューや文献などを参考に、歴史背景などをまとめ、“新見民謡アーカイブス”を完成させた。
これにより、データとして後世に継承できるとともに、いつでも民謡に触れることができるようになった。

●民謡フェスの開催



市街地にある城山公園周辺で民謡Fesを開催。
市内外の民謡グループだけでなく、吹奏楽、ダンスなど幅広いジャンルの団体がパフォーマンスを栗井広げ、若い世代も楽しめる工夫を行っている。
今後も、定期的に実施する予定。

●“新見音泉”の開催



多彩なジャンルの音楽に触れることができるイベントを随時開催している。内容は、ジャズやフォーク、海外の民族音楽などさまざま。市内で働く技能実習生などにも声をかけ、国際交流にも積極的に取り組んでいる。写真は、アフリカの楽器「親指ピアノ」の演奏家を招いたときのもの。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））iju213@city.niimi.lg.jp
（電話番号（職場））0867-72-6114

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）niimionsen

岡山県和気町　　新宮 なつみ

教育・文化

～　子どもたちの未来と世界を、和気からつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
３７歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
同上
【前　職】
語学学校駐在員
（フィリピン セブ島）
【活動時期】
R６.１～R８.１２

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍をきっかけに日本の安心感や暮らしやすさを再認識し、和気町への移住を検討していました。将来、地域に根ざした活動をしたい一方で、新しい環境になじめるか不安もありましたが、自然に地域に関わりながら、これまでの教育経験を活かして子どもたちの学びを支えられる公営塾の取り組みに魅力を感じ、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

公営塾での教育の質が隊員の入れ替わりで大きく左右されないよう、英語教材や運営ノウハウを体系化し、持続可能な形に整えていきたいと考えています。任期終了後は、町に根ざした飲食店の開業を目指しつつ、町のみなさんが魅力を感じられる地域づくりに引き続き関わり、協力隊の枠を超えて活動の幅を広げていきたいと思っています。

活動内容

●藤まつりでの公営塾ブース出展・英会話体験

和気町の一大イベント「藤まつり」にドリンクブースを出展し、公営塾のPRと英会話体験を実施。
子どもたちが店員役となり、英語で注文すると商品が半額になる仕組みで、地域の方々と交流しながら実践的な英会話に挑戦できる場をつくっています。



●国際交流イベント「イングリッシュフェス」

英語学習だけでなく、多文化理解を重視した体験型プログラムを企画・運営。外国人参加者との交流や各国の文化紹介を通じて、子どもたちが国際的な視野と多様性を尊重する姿勢を育める場づくりに取り組んでいます。



●実践的な英会話と学力向上の両立

和気町在住の外国人ゲストを定期的に招いたり、ゲームを活用した英語実践を取り入れることで、英語へのハードルを下げています。一方で、塾での指導経験を活かし、成績向上や英検対策にも力を入れています。授業内容は現在も継続的に見直し、実用性と学力向上の両立を図っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））natsumishingu@gmail.com
（電話番号（個人））070-8944-0876

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公営塾HP）https://www.town.wake.lg.jp/koeijuku/index.html

広島県廿日市市　下村　祐介

教育・文化

～　伝統を未来へ。宮島細工の新しいかたち　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
三重県多気郡明和町
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
教師
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

大学でデザインや木工、漆芸を専門に学び、その中で宮島ろくろと出会い、作品制作をはじめ、伝統を活かしながら現代の暮らしにあったデザインを模索したり、ブランディングを研究したり、他の漆器産地の調査などを行なっていました。また、前職では高校で非常勤講師として、木工実習やデザインの授業を受け持ち、ものづくりの楽しさやデザインの面白さを生徒たちに伝えていました。これらの経験を最大限活かし、宮島ろくろをはじめとする宮島細工の発展に貢献できると考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、宮島細工の魅力を多くの人に知ってもらい、宮島細工を求めて宮島を訪れる人を増やしたいと考えております。また実技面では、ロクロの一人前の職人になれるよう刃物作りや作品制作に励み、技術を高めていきたいと考えております。
任期後の目標は、宮島でろくろの工房とワークショップのお店を開き、たくさんの方にロクロの作る楽しさや作品を届けていきたいと思います。

活動内容

●宮島細工の技術習得、技術の伝承

宮島細工 伝統工芸士であり現役のロクロの職人の藤本悟氏の協力のもと、技術を学び、宮島ロクロの後継者として一人前になれるよう技術習得に取り組む。
また、市立大学の学生などにロクロの専門的な技術指導や、一般向けに宮島ロクロを中心にワークショップや体験を通じて技術を伝える活動を行なっている。



●宮島細工の普及促進、周知活動

インスタグラム等で宮島細工についての情報発信をおこなったり、宮島細工を紹介する企画展などの開催。さまざまな手法で広く宮島細工についての周知を行う。2024年11月「宮島細工の匠展」では宮島町商工会と協力し、先人たちの古い作品を島内在住者や作り手のご遺族の方に呼びかけ収集。また現役の作り手にも作品の提供を呼びかけ、新旧の宮島細工を一同に見ることのできる企画展を実施した。



●伝統工芸に関する情報収集、記録。

宮島細工の作品や製品、道具を調査し記録を行う。
それらをSNSや図録などの形で発信する。
また、宮島以外の工芸産地の伝統産業会館等の施設や後継者育成の取り組みについて現地調査を行い、宮島で活かせる点を研究する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））sangyo@city.hatsukaichi.lg.jp
（電話番号（職場））0829-30-9140
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
地域支援員ホームページ　https://201community-supporters.com/
インスタグラム　miyajima_zaiku

長崎県五島市　野田　隆喜

教育・文化

～地域に寄り添う伴走型支援！ひきこもりサポーター～

基本情報



【年　齢】
67歳
【出身地】
福岡県飯塚市
【転出元】
福岡県県桂川町
【前　職】
青少年育成団体主宰
【活動時期】
R５.４～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

２０年余りひきこもり・不登校や青少年支援に関わってきました。一昨年（２０２３年）で一区切りつきました。幾つかの自治体や団体からお誘いをいただきましたが自分のやってきた活動を「知らない土地」でやってみたいとの思いから年齢制限がない募集の五島市を受験した結果採用いただきました。

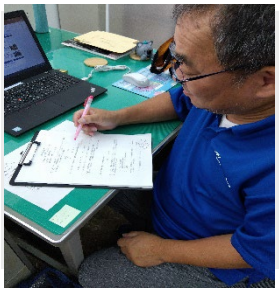
今後の抱負･任期後の目標

使命は３年の任期では終わりません。精々基礎工事程度です。任期後「民間活動」の立場で五島市の活用できる資源やこのままでは消滅する貴重な資源を整備のうえ体系化をしたうえで「事業収益」を目指します。その収益を私の使命である「ひきこもり等」活動にあてます。それが最初から「委託金・補助金ありき」でなく、まずは努力を次世代に形として残したい。NPOの王道を歩きたいです。同様に「就労前の準備」ができる場を作りたい。

活動内容

●ひきこもりの実態把握（特に８０５０）

全国の市町村でも実態把握をできている自治体はわずかであり推計値が大半です。五島市は各関係施設・民生委員・保護司等可能な限り市民に近い関係にアンケート・戸別訪問調査中。



●ひきこもり当事者や近親者の方への訪問等

長く社会とは疎遠だった方やその近親者より連絡あれば訪問を実施。その相手の状態や事情に合わせて対応中。「困ることがわからない」「困ってもいけない」など　まずは心をほぐす努力中



●市民への啓蒙活動・サポーター養成講座

「自己責任・親が甘い」との考えが支配しがちが現状です。その考え方を少しでも変えていただける啓蒙活動とより促進できるよう「出前講座」で対応中。次年度は核を育てるためにサポーター養成講座を立案・実施準備中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））noda-t@city.goto.lg.jp
（電話番号（職場））0959-72-6121(直通)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】工事中

宮崎県えびの市　武井　恒介

教育・文化

～　地域教育魅力化コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
山形県米沢市
【転出元】
山形県米沢市
【前　職】
酪農・畜産
【活動時期】
R5.3～R8.2

協力隊に応募したきっかけ

大学時代を過ごした宮崎県で仕事を探していたところ、縁あってえびの市からお声がけいただいた。大学の専攻と前職が農業・畜産で、特に直近の仕事はアメリカにてヤギ酪農とバギーで放牧牛を追いかける毎日を過ごしていた。大変豊かな時間を過ごすことができたが、この選択や考え方を今後の社会の担い手たちに伝え、魅力ある人材を育て、その人材と共に社会活動をすることはできないかと考えていた。そんな中、えびの市が探究コーディネーターを募集すると連絡を頂き、教員ではない立場で教育業界に参加できることに魅力を感じ即決で応募をした。

今後の抱負･任期後の目標

任期は残りわずかだが、常日頃から良くしていただいている地域の方や仲間に感謝を忘れず日々の業務に励んでいきたい。今後は、引き続き教育事業を中心にえびの市を拠点に活動をしていくので、地域の方々とのご縁を大切に、教育を軸とした街づくりに微力ながら携わっていきたいと考えている。えびの市には、お手本とする事業者の方が多く、先輩方のお知恵を頂きながら、自身の事業も広げていきたい。

活動内容

●活動内容：宮崎県立飯野高等学校魅力化



えびの市唯一の公立高校である飯野高校の魅力化のため、中高連携事業や「地域みらい留学」を活用し県外生徒募集を行い、高校の生徒数増加を目指している。高校生が主体性を持ち、地域を学びの場とするPBL型学習の伴走も行う。生徒の学びが深まることが、結果的に高校魅力化となる。
例）京町温泉郷活性化プロジェクト・スプラッシュフェス
～温泉水をぶっ放せ！～

●活動内容：越境プログラムの創出



えびの市内の学生に一歩踏み出して他地域へ自ら学びに行くことができるプログラムの開発・運営を行った。参加した中高生はえびの市では想像していなかった知見を得て、その経験を地元にどう還元していくかを考え行動していく様子が見られた。
例1）えびの市×マダガスカル共和国
例2）飯野高校×台湾

●活動内容：地域教育魅力化コーディネーター



変化の激しい社会で生き抜く力を育むために、中等教育段階で生徒の探究的な学びを深めることを求められている。教員ではない立場から、生徒たちに多様な価値観や、人との出会いを届ける活動をしている。実際に飯野高校の「総合的な探究の時間」や、中学校の「えびの学」に入り、生徒や学校の伴走をしている。さらに、教育現場と地域社会の接続のために各方面の地域人材との橋渡し役となっている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）6021_teacher019@g.miyazaki-c.ed.jp
（電話番号（職場）　）0984-35-3713